

2 外部人材の活用

※外部人材を活用した授業は、単元指導評価計画に体験のための学習と体験を生かした学習を位置付けて、実施しました。

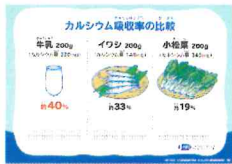


Connect

家庭科

●日本乳業協会プログラムを活かした授業

「中学生の栄養と食事」の単元のまとめとして、日本乳業協会のプログラムを利用し、「骨のヒミツ」について学び、牛乳の調理試飲を体験する。各学年1回は外部プログラムを利用し、幅広い知識と実践力を身に付ける機会をつくっている。



美術

●伝統工芸士の体験教室を活かした授業

日本の伝統文化を自分たちの手から手へと受け継いできた江戸指物師との出会いの場を設定した。体験を通して、伝統工芸の素晴らしさを学んでいく。道具の扱いの手ほどきを受けながら仕上げたお花台を授業で加飾し、生活の場に返していく。



保健体育

●NPOの講師を招聘した心肺蘇生法の授業

「NPO千葉PUSH」の協力を得て、救命の知識を深める内容から実技まで学ぶ授業を行った。ロールプレイングを取り入れ、生徒が主体的に学ぶ工夫をした。もし、自分が救命の場面に遭遇したとき、勇気を出して対応していきたいという生徒が増えた。



社会

●税理士会 租税教室を活用した授業

東京税理士会 江戸川北支部の講師を招き、税という視点から意義・役割、そして社会の仕組みを考える授業を対話的な学習活動を取り入れながら行った。意見を交換し合いながら、今後の日本の財政課題を考える学習へつなげた。



3 江戸川区等の教育資源の活用



Support

英語

●ALTとの関わり合いの中で学ぶ

ネイティブの英語に触れるだけでなく日本とは違う文化を知り、海外や多言語への興味をもつことを目標とした。ALTの常駐を生かし、生徒が生活の中で日常的に英語に触れることで、英語で自己発信する意欲が高まった。



読書科

●江戸川区の取組を活かした出前授業

「2100年の江戸川区」「SOSの出し方教室」など区の施策に基づく事業を活用した授業を企画した。自ら考えることが少なかった生徒が、社会課題を自分のこととして捉え、読書科探究レポートに自らの考えを工夫して表現できた。



外部人材・教育資源を活用した取組

- 放課後補充教室 数学単元別検定：数学・英語の基礎学力向上
- よむYOMUワークシート：論理的文章、読解力の向上
- EDO塾、EDO学舎：学習機会の多様化、学力向上
- チャレンジ・ザ・ドリーム：職場体験、地域社会との協働
- 「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」劇団四季：芸術体験
- 経済同友会出張授業「チャレドリ講座 働くということ」

